

生産性向上支援訓練の活用事例

《組織マネジメント分野》

【団体概要】 情報関連の事業主団体（会員企業 8 社15名受講）

訓練受講のきっかけ

当団体では毎年、人材育成の研修を行っている。今回、顧客目線でソフトウェア開発を行い、顧客拡大を目指したいとの会員企業のニーズにより、生産性向上支援訓練より組織マネジメント分野の「IoTを活用したビジネスモデル」の訓練受講を希望された。

【訓練コース】 IoTを活用したビジネスモデル

- ・目的は顧客目線での業務開発
- ・IoTとビッグデータについて理解し、利活用事例を知る
- ・自社でのIoTを活用したビジネス展開を目指して具体的な訴求点を学ぶ
- ・演習では人型ロボット(Pepper)のアプリ開発などを体験する

訓練の実施状況

訓練の概要

- 1回6時間×2回、計12時間、対象者：中堅層
 - 主な内容
- 【IoTとビッグデータ活用の現状】
- ・IoTとロボット活用の現状(コミュニケーションロボット、スマートハウス)
 - ・IoTとビッグデータ活用の現状 (IoTとビッグデータの関連性、クラウドサービスとAI)
- 【IoTを活かしたビジネス展開の方向性】
- ・IoTを活かしたビジネス展開 (IoTセキュリティ、ビジネスモデル、ロボットの導入事例)
- 【ワークショップ】
- ・Pepperを使用した演習



受講した感想

【受講者の声】

- ・今までロボットに触れたことがなかったため、IoTというものに非常に興味を持つことができた。
- ・コミュニケーションロボットを自らプログラミングすることにより、あらたな発想が生まれた。
- ・日常生活や業務の中でも自動化など考えるきっかけができた。

【団体及び企業の声】

- ・受講者が新たな技術の習得を意識する点が見られた。
- ・受講した社員が、社内に戻ってから主体的に研修のフィードバックを行った点について意識の向上を感じた。